

会議報告書

令和1年12月19日

部 会	記念事業部会	部会長	石嶋政博
-----	--------	-----	------

(1) 概要

議 題	記念事業計画素案の見直し等協議
日 時	令和1年12月19日 午後7時～午後9時
場 所	峰山高校同窓会事務室（峰山高校校舎内）
出席者	石嶋・田崎・平井・安達・堀・今田事務局長

(2) 会議内容

※100周年記念事業を検討する前提の確認と高校事務局との事前協議の概要報告（部長より）

記念事業は、多くの同窓生と在校生に「何らかの参加」の意識を持ってもらえて次の4つの観点で見直し具体化したい。①創立100周年の記憶に残る ②100年からのスタートで継続が可能 ③事業実施に安全と安心が担保できる ④同窓生の負担感を持たせない

※記念事業の素案（8/1 常任委員会説明）を基に、峰山高校松下事務局長と峰山高校同窓会井上事務局長との面談協議の概要を報告

事業素案の構想となる、同窓会館兼学食の新築や校舎改修には諸費用や安全対策の点で現段階では厳しい。壁絵の構想でも生徒の参加程度と工事中の安全対策の検討が必要。フェスティバル開催では文化祭時に駐車スペースや空き教室の検討が必要。現段階で素案ではあるが壁は大きくあるので今後具体化する都度協議をしながら進めていただきたい。在校生へのアイデアとして教育的な教材（例えばプロジェクタ、タブレット、機器など）生徒が活用できるものとして加えていただければ。

(3) 協議事項

・今田事務局長より、募金の収入状況報告

12月現在で約6,200千円 振込者688人（3%：20,896通）

募金をしようにも100周年事業の具体的なイメージが湧かないという印象

<意見交換>

8/1の常任委員会提案報告書を基に、10/31の広報部会との合同協議の概要報告と松下事務局長との事前協議も踏まえて意見交換

- ・高校入学を控えている娘が宮津高校には学食があるが峰高には無いが記念事業検討中と話している点や、在校生の昼食（弁当持参）対応は親の負担感があると実態など意見あり
- ・教育機材の購入については、検討すべきものではあるが利活用をしてもらえるものとすべきでは。近年小学校や中学校で電子黒板の設置などPC環境の目まぐるしい進化がある。
- ・学食の復活について市内食堂のマスターと話したこともある
- ・コンビニ方式は現実味が無いように聞いている
- ・新築には校舎と同様の安全基準が求められる。校舎改修は耐震基準を考慮すると内装程度の改修となる。
- ・広報部会からの指摘である資金計画がない点は、募金を依頼する上で具体的な提案がしにくく、提案して叶えられるかが問われる。
- ・1月と2月に京都支部や大阪支部への記念事業PRに具体事業が示せないのは、2回目の募金活動に明るい材料が出てこない。
- ・同窓生や在校生の事業アイデアを募ることも必要では
- ・今さら事業アイデアを募る時期ではないなら、せめて在校生の意見を聞くことはすべきでは。

<協議まとめ>

部会員の印象として「学食の復活」は外せない事業であるが具体化ができない
在校生への意見聴取は何らかの手法で行うこととなる

(4) 備考

--

コメント
